

平成18年3月期 第1四半期 (17.4~17.6) 連結決算参考資料

()内は、前年同期比増減率

	前年同期実績 (16.4~16.6)	当第1四半期実績 (17.4~17.6)	当期予想 (17.4~18.3)
販 売 台 数	1,791千台	1,948千台 (8.8%)	7,970千台
	億円	億円	
売 上 高	45,103	49,817 (10.5%)	
営 業 利 益	4,486	4,051 (9.7%)	
< 利 益 率 >	< 9.9% >	< 8.1% >	
税金等調整前当期純利益	4,704	4,218 (10.3%)	
< 利 益 率 >	< 10.4% >	< 8.5% >	
当 期 純 利 益	2,866	2,668 (6.9%)	
< 利 益 率 >	< 6.4% >	< 5.4% >	
増 減 益 要 因 < 営 業 利 益 >		営業利益は、435億円の減益 (増益要因) 億円 ・ 営業面の努力 300 ・ 原価改善の努力 300 (減益要因) 億円 ・ 為替変動の影響 100 ・ 厚生年金基金代行 返上益の減少 67 ・ 研究開発費の増加 ほか 868	
為 替 レ ー ト	110円/\$ 132円/ユーロ	108円/\$ 135円/ユーロ	
	億円	億円	億円
設 備 投 資 (除 く リ ー ス 用 資 産)	2,155	2,653	12,500
減 価 償 却 費	1,812	1,907	8,300
業 績 評 価		増収減益	

(注) 当社の連結財務諸表は、米国会計基準により作成しています。

【注意事項】

上記の「当期予想」に記載されている各数値は、当社（連結子会社を含む）が現在入手している情報を基礎とした判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績と大きく異なる可能性があります。

なお、上記の不確実性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- ・ 主要市場における経済情勢および需要ならびに競争状況等の変動
- ・ 為替相場の変動（主に円/米ドル相場、円/ユーロ相場）
- ・ 原価低減や設備投資を計画通り実施する当社の能力
- ・ 当社の主要市場における貿易、環境保全、自動車排ガス、燃費効率、安全性等当社の事業や財務状況に影響を与える各種法律、規制
- ・ 主要市場における政治情勢
- ・ 適宜、新製品を開発し市場へ投入する当社の能力
- ・ その他当社が事業活動を行う上での様々な障害

以上の不確実性および変動要素全般に関する詳細については、当社の有価証券報告書または米国証券取引委員会に提出された年次報告書（フォーム20-F）をご参照ください。